

平成27年度

定期監査報告書

浜中町監査委員

平成27年度定期監査報告書

浜中町監査委員 天 木 保 洋

同 川 村 義 春

監査の範囲

平成27年4月1日から平成27年9月30日までに執行された財務に関する事務の執行及び経営に係る事務の管理（必要に応じ、他の年度の執行分も対象とした。）。

監査の方法

前記事務について、関係法令等及び予算に基づき適切に執行されているかを主眼とし、経済性、効率性、有効性の観点にも留意しつつ関係書類による検査及び関係職員から聞き取りにより実施した。

監査の期間

平成27年11月10日から同年11月30日まで

監査の結果

財務に関する事務の執行及び経営に係る事業の管理については、おおむね適正に執行されているものと認めるが、次の事項については改善及び検討が必要である。

1 改善及び検討すべき事項

(1) 町立浜中診療所の運営について

公立の医療機関は、9割が赤字と言われているが町立浜中診療所の実質的な赤字額は一般会計繰入金額によって判断される。

平成26年度の繰入額は、120,351千円で平成25年度より約280万円減少したが、本年度の決算では130,000千円を大きく上回る見込みである。

また、一般税収納額に対する割合も、17%を超える状況であり見過ごすことのできない問題である。一方、医業収益を見ると平成26年度の100,356千円に対し本年度決算では、90,000千円を下回る見込みである。

以上を踏まえ、次の2点について早急に検討されたい。

(表1)

年度別医業収支状況

各年度9月末現在の実績

(単位:人・千円)

区分	医業収益										医業費用
	入院		外来		その他収入1 (諸検査収入)		その他収入2 (使用料及び 手数料)		計		
	患者数	金額	患者数	金額	患者数	金額	件数	金額	患者数	金額	
25	1,808	14,200	4,965	19,488	682	1,216	639	3,109	8,094	38,013	107,071
26	2,146	16,007	4,991	16,380	738	1,937	672	2,537	8,547	36,861	105,225
27	2,115	16,327	4,749	15,282	728	1,813	567	1,746	8,159	35,168	111,893
前々年 比較	307	2,127	△ 216	△ 4,206	46	597	△ 72	△ 1,363	65	△ 2,845	4,822
前年 比較	△ 31	320	△ 242	△ 1,098	△ 10	△ 124	△ 105	△ 791	△ 388	△ 1,693	6,668

(表2)

年度別医業収支状況

各年度末現在の実績

(単位:人・千円)

区分	医業収益										医業費用
	入院		外来		その他収入 (諸検査収入)		その他収入 (使用料及び 手数料)		計		
	患者数	金額	患者数	金額	患者数	金額	件数	金額	患者数	金額	
25年度	3,410	36,909	10,009	48,209	860	2,005	2,796	9,098	17,075	96,221	246,719
26年度	4,058	44,953	9,744	43,918	911	2,899	3,015	8,586	17,728	100,356	239,592
27年度 (見込み)	3,672	37,637	9,315	41,500	846	2,672	2,058	7,217	15,891	89,026	245,218
前々年 比較	262	728	△ 694	△ 6,709	△ 14	667	△ 738	△ 1,881	△ 1,184	△ 7,195	△ 1,501
前年 比較	△ 386	△ 7,316	△ 429	△ 2,418	△ 65	△ 227	△ 957	△ 1,369	△ 1,837	△ 11,330	5,626

ア) 町立診療所経営改善計画の策定について

町民に信頼され、多くの患者が安心して一次診療を受けられる体制の確立と併せて、一般会計からの繰入に対する依存度を最小限にとどめる経営改善計画を早急に策定されたい。

イ) 経営体質の抜本的な改善対策について

現体制での経営改善が見込まれない場合は、首長としての指導力と責任におい

て指定管理者制度等の導入を含めた抜本的な対策を早期に講じられたい。

(2) 税外未収金に係る債務保証人に対する請求について

この問題を指摘してから数年経過しているが、いまだに全体的な取扱い基準が不明確である。収納の基本である請求のあり方を確立しなければ、各担当者の事務に一貫性を持たせることができないことから、早急に保証人請求の基準を検討されたい。

(3) 町営住宅使用料の高額滞納者に係る対応について

決算監査講評時に私債権の内、上記案件について長期にわたり滞納を繰り返している高額滞納者について特別な政策判断が必要である旨を申し上げ適切な取扱いを指摘してきたが、監査時点では何も前進していない状況である。

よって今期決算までに、一定の処理方法及び取扱いの方向性について結論を出されたい。

町長部局、各委員会部局、議会事務局等の監査内容(報告)

総務課

総務課各係について、関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、監査した。

各係事務事業内容は、次のとおりである。

総務係

文書の收受及び発送、庁舎の維持管理ほか、許可等指令 68 件（前年対比 19 件減）、条例・規則・訓令の公布 56 件（前年対比 29 件増）、告示 53 件（前年対比 13 件増）、自動車臨時運行許可（ナンバー交付）6 件（前年対比 10 件減）を執行している。

予算執行状況は、歳入予算現額 2,435 千円に対し、調定額 3,918 千円、収入済額 3,918 千円で調定対比 100.0%である。歳出は、予算現額 64,271 千円、支出済額 24,860 千円、執行率は 38.7%である。

なお、歳入の調定額、収入済額が予算額より増えたのは、ふるさと納税（寄付金）が多く寄せられたことが要因となっている。

補助金、負担金及び交付金の状況は、町村会負担金ほか 15 件 2,346 千円が支出済である。

職員係

職員の任免、賞罰、分限、服務、給与、福利厚生、健康管理、研修等を分掌している。

健康管理は、健康診断 138 人（2 次検診 23 人）、人間ドックで 120 人がそれぞれ受診し、職員研修では、税務事務（基礎）研修・管理能力研修などの自己研鑽研修、新規採用職員研修等を行っている。

予算執行状況は、歳入予算現額 7,210 千円に対し、調定額 6,191 千円、収入済額 3,257 千円で、調定対比 52.6%である。歳出では、職員厚生に要する経費、職員研修に要する経費、給与費で予算現額 1,337,503 千円、支出済額 618,510 千円、執行率 46.2%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、退職手当組合負担金ほか 3 件 49,921 千円が支出済である。

交通安全係

交通安全対策、町有車両の維持管理（38 台）、バスの運行などを主な業務としている。

交通安全指導員（28 人）の出動状況は、10 件で昨年同時期より 2 件増えて、出動人員も延 117 人と昨年同時期より 18 人増えている。

予算執行状況は、歳入予算現額 1,100 千円に対し、調定額 536 千円、収入済額 536 千円で、調定対比は 100.0%である。歳出では、予算現額 46,360 千円、支出済額 13,061 千円、執行率 28.2%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、浜中町交通安全運動推進協議会補助ほか 2 件 1,110 千円が支出済である。

契約管財係

公有財産の取得、管理処分、備品の管理や公の集会施設維持管理に関する業務、建設工事の契約及び検査、公営住宅の建設計画、維持管理など財産関係の業務を主としている。

●土地建物貸付関係

○土地(有償分)

・宅地	68件	23,319.77 m ²	2,073千円
	(前年対比 21件減)	(前年対比 2,549.12 m ² 減)	(前年対比 902千円減)
・干場	70件	83,803.62 m ²	1,337千円
	(前年対比 6件減)	(前年対比 11,134 m ² 減)	(前年対比 195千円減)
・その他	97件	180,170.95 m ²	3,289千円
	(前年対比 30件増)	(前年対比 11,597.56 m ² 増)	(前年対比 390千円増)
計	235件	287,294.34 m ²	6,699千円
	(前年対比 3件増)	(前年対比 2,085.56 m ² 減)	(前年対比 707千円減)

(無償貸付分)

	116件	217,923.72 m ²	無償
	(前年対比 1件増)	(前年対比 27.61 m ² 増)	

○牧野 採草放牧地 5件 366,436.00 m² 218千円

○建物 職員住宅 27件 27棟 2,340千円
(前年対比 178千円増)

●土地借用関係

教員住宅敷地外 41件 214,466.06 m² 借地料 1,489千円
(内無償 18件 165,978.29 m²) (前年対比 80千円減)

●財産の取得

○建物 教員住宅 1棟1戸 86.12 m² 買受

●財産の処分

○土地 宅地 1筆 135.79 m² 768千円

●職員住宅関係

木造住宅・ブロック造・軽量気泡コンクリートパネル造
14棟 45戸

●公有物件共済加入状況

職員住宅ほか(共済責任額 7,326,091千円) 分担金 2,260千円

●町有施設保守管理委託状況

消防用設備（42 施設）3,186 千円・浄化槽（14 施設）862 千円・自家用電気工作物（17 施設）2,720 千円・暖房設備（18 施設）1,738 千円・地下タンク及び地下配管（15 施設）648 千円・排水再利用装置（4 施設）2,009 千円・昇降設備（2 施設）1,491 千円・煙道中の排ガス測定（5 施設）263 千円、これに浜中診療所特別会計分 4 施設、462 千円を合わせ、合計 121 施設、13,379 千円である。

●町営住宅管理状況

町営住宅は、団地数 15 団地、棟数 54 棟、保有戸数 261 戸、入居は 203 戸で 58 戸が空家となっており、このうち 50 戸は入居不能な戸数（政策空家含む）である。なお、町営住宅使用料の高額滞納分の徴収等については、他の入居者との公平性を考えると何らかの改善策が必要である。

●公の集会施設利用状況

公の集会施設（27 施設）の利用状況は、1,230 件利用され、利用人数は 25,907 人で、前年対比 17 件利用件数減、利用人数 165 人増となっている。

予算執行状況は、歳入予算現額 108,797 千円、調定額 77,166 千円、収入済額 25,807 千円で、調定対比は 33.4%である。歳出は、予算現額 237,290 千円、支出済額 67,138 千円、執行率は 28.3%である。

9 月 30 日現在の各種工事などの契約状況は、次のとおりである。

工事区分	件数	請負金額
土木工事関係	12 件（前年対比 4 件減）	57,164 千円（前年対比 129,946 千円減）
建築工事関係	6 件（ " 5 件減）	174,410 千円（ " 73,256 千円減）
委託事業関係	13 件（ " 2 件増）	104,191 千円（ " 56,264 千円増）
合計	31 件（前年対比 7 件減）	335,765 千円（前年対比 146,938 千円減）
物品購入関係	6 件（前年対比 10 件減）	56,016 千円（前年対比 23,464 千円減）

情報管理係

OA化の推進、電子計算機に係る総合調整及びデータ管理・保守、行政情報システムの調査、研究及び行政情報の利用の促進、情報公開、個人情報保護に関することを分掌している。

情報公開・個人情報保護審議委員、情報公開・個人情報保護審査委員に、それぞれ 5 名の委員を委嘱している。管轄下の OA 機器の管理、更新等の管理が行われていて、年次毎に更新等を図っている。WEB-TAWN の更新に向け事業遂行をしている。マイナンバー制度に伴う関連機器の共同調達及び情報セキュリティ強化対策を実施している。

予算執行状況は、歳入予算現額 14,748 千円に対し、調定額 2 千円、収入済額 2 千円で、調定対比 100.0%である。歳出では、電算システム運用に要する経費、総合行政ネットワークシステムに要する経費で予算現額 61,674 千円、支出済額 19,972 千円、執行率 32.4%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、道自治体情報システム協議会負担金ほか 3 件 14,321 千円が支出済である。

選挙管理委員会

事務局

関係書類の整理及び事務執行について監査した。

本年度は、北海道知事選挙及び北海道議会議員選挙、浜中町議会議員選挙を執行している。

予算執行状況は、歳入予算現額 4,583 千円に対し、調定額 0 円、収入済額 0 円、執行率 0.0%である。

歳出は、予算現額 18,832 千円、支出済額 12,556 千円、執行率は 66.7%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、釧路町村選挙管理委員会連合会負担金ほか 1 件で 40 千円が支出済である。

防災対策室

防災対策室防災係について、関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、監査した。

防災係

防災計画及び防災対策、緊急災害の統括、防災無線、水防計画、国民保護計画及び国民保護対策、消防に関することを主な業務としている。

東日本大震災以降、太平洋沿岸への新たな津波浸水予測を踏まえ、浜中町津波避難計画、町内各地区津波避難計画を作成した。これらに対し、津波避難施設等の整備に向けて町内各地区との調整を図っている。

津波防災避難訓練は、5 月 24 日に実施し 831 人が参加しているが、昨年より 83 人増えているが、参加率では依然として低調である。

予算執行状況は、歳入予算現額 2,100 千円、調定額 0 円、収入済額 0 円、調定対比 0.0%である。歳出は予算現額 324,249 千円、支出済額 142,518 千円で、執行率 44.0%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、釧路東部消防組合浜中消防署負担金ほか 1 件 138,088 千円が支出済である。

企画財政課

企画財政課各係について、関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、監査した。

企画調整係

「第 5 期浜中町新しいまちづくり総合計画」もスタートから 6 年目となり、実施計画についてはローリングを実施することとなっており、事業の積み残しや前倒し、事業項目の追加等の調整を行っている。

辺地計画と過疎地域計画については財政上の特例措置を受けるべく、辺地指定と過疎指定を受け財源の有効活用を図るよう努めている。

町の重点施策実現のため関係官庁、関係団体等に対し、北海道釧路総合振興局や釧路地方総合開発促進期成会を通じて要望している。

地域の住民活動団体が、自ら行う地域活性化事業などに対して補助する地域振興補助事業は 5 事業で、

町補助金は2,435千円を予定している。

人づくり基金事業については、5件の事業費3,671千円に対し、2,041千円の町補助を見込んでいる。

だれもが暮らしやすい地域づくりをめざすコミュニティ活動の支援事業として自治会連合会、単位自治会、老人クラブ等と連携し、環境美化運動の推進や花いっぱい運動、新生活運動の推進、更にはコミュニティ助成事業の取りまとめを行い、地域活動の活性化を図っている。なおコミュニティ助成事業では、浜中東南連合会が物置やテント等の整備で2,500千円の助成を受けている。

今年度の各種統計調査は、5月に学校基本調査を実施したほか、27年国勢調査などが実施される。

予算執行状況は、歳入予算現額13,613千円、調定額4,547千円、収入済額4,522千円、調定対比99.5%である。歳出は、予算現額13,849千円、支出済額5,829千円、執行率は42.1%である。

繰越明許費の予算執行状況は、歳入予算現額62,841千円、調定額47,259千円、収入済額0円、調定対比0.0%である。歳出は、予算現額50,538千円、支出済額2,385千円、執行率4.7%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、一般コミュニティ事業助成金ほか9件5,458千円が支出済である。

広 報 係

町広報紙の発行に当たっては、町政全般にわたる周知や執行状況、各課からの広報紙への記事掲載など、紙面の有効活用を図りながら、毎月1日に発行している。

広聴に関すること、町民の要望、意見、提言、情報などについて各課との調整による対応のほか、ホームページの管理運営と、総務省から委嘱されている行政相談員との連携による行政相談を実施している。

昭和50年3月に町史を刊行以来37年が過ぎ、平成25年度に開町135年、町制施行50周年を迎えたことから、浜中町の史実を記録するため、新浜中町史を発刊するため製作作業を進め、発刊予定を平成25年度末としていたが、資料の収集や史実の確認調査に時間を要したため平成26年度末の刊行となっている。町内外、関係機関に有償で131冊販売し、338冊を寄贈している。

予算執行状況は、歳入予算現額1,800千円、調定額393千円、収入済額393千円、調定対比100.0%である。歳出は予算現額3,902千円、支出済額1,652千円、執行率は42.3%である。

財 政 係

予算の編成、経理、支出命令、地方交付税、町債等を主な業務としている。本年度の起債予算計上額は17件で795,966千円である。この内、臨時財政対策債220,466千円が含まれる。26年度との比較では、件数で1件増、予算計上額で76,025千円減となっている。

地方交付税の交付決定額3,356,330千円に対し、9月末での普通交付税2,487,929千円が収入済である。

実質公債費比率11.4%、将来負担比率81.0%、経常収支比率83.5%、地方債借入年度末残高7,776,845千円を見込んでいる。

環境政策係

環境政策の企画調整及び調査研究に関することを主な業務とし、再生可能エネルギー等導入支援対策事業補助の受付をしており、今年度は2件（前年対比9件減）、197千円（前年対比1,919千円減）の申請が提出されている。

自然環境の保全及び環境対策では、霧多布湿原の保全に向けエゾシカ食害対策事業補助の実施、特定外来生物指定のオオハンゴンソウ駆除を実施している。

地域エネルギーとして、風力発電による売電を実施しており、経営の長期的安定化が期待される。

予算執行状況は、環境政策に要する経費の歳出のみで、予算現額2,802千円、支出済額512千円、執行

率は 18.3%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、再生可能エネルギー等導入支援対策補助ほか 1 件の 147 千円が支出済である。

税 務 課

税務課各係について、関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、監査した。

課 税 係・収 納 係

本年度の町税収納率は、9 月末で普通税の調定額 702,067 千円に対し、収入済額は 382,997 千円で 54.6%、国保税は調定額 492,730 千円に対し、収入済額は 151,802 千円で 30.8%の収納率で、前年対比では普通税調定額で 0.2%増、収納率では 0.3%の減、国保税調定額で 8.8%増、収納率では 1.4%増となっている。

町税等の納付に対する町民の公平性と信頼を確保するため、町独自での収納困難な滞納事案を抽出して「釧路・根室広域地方税滞納整理機構」に引継ぎ、滞納の解消に努めている。

予算執行状況は、国有資産等所在市町村交付金及び納付金、道支出金の総務費委託金で歳入予算現額 9,300 千円に対し、調定額 4,860 千円、収入済額 4,860 千円で、調定対比 100.0%である。

歳出では、税務総務費、賦課徴収費で予算現額 8,810 千円、支出済額 3,010 千円、執行率は 34.2%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、釧路・根室広域地方税滞納整理機構負担金ほか 2 件 285 千円が支出済である。

出 納 室

現金の収入保管、支払及びその記録等例月出納検査により立証されているため、その他の事務について監査した。

出 納 係

予算執行状況は、歳出予算現額 623 千円、支出済額 112 千円、執行率は 18.0%である。

保 育 所

保育業務係

常設の霧多布保育所（140 人）・茶内両保育所（60 人）は、定員 200 人に対し 109 人（前年対比 14 人減）の幼児が入所しており、霧多布保育所は 59 人（5 歳児 21 人、4 歳児 14 人、3 歳児 12 人、2 歳児 8 人、1 歳児 4 人）の幼児について保育士 9 人（前年対比 1 人減）、栄養士 1 人、調理人 2 人、茶内保育所は 62 人（5 歳児 17 人、4 歳児 15 人、3 歳児 12 人、2 歳児 11 人、1 歳児 5 人、0 歳児 2 人）の幼児を保育士 9 人、調理人 2 人で対応している。

このほか、子育て支援センターとして 8 月 18 日から 9 月 17 日までの 1 ヶ月間で 109 人（前年対比 72 人利用減）の利用があり、保育士 1 人が対応し、安心して産み育てられる環境づくりに努めている。

両保育所とも毎月の避難訓練のほか、年次計画に基づき各行事を行っている。

へき地保育所の運営については、4箇所を開設し、幼児数 51 人（前年対比 5 人増）に対して保育士 8 人（前年対比 1 人増）をもって保育に当たっている。

予算執行状況は、歳入予算現額 50,407 千円に対し、調定額 51,535 千円、収入済額 27,198 千円で、調定対比 52.8%である。歳出は、予算現額 59,361 千円、支出済額 23,498 千円、執行率は 39.6%である。

繰越明許費の歳出予算減額 7,800 千円、支出済額 0 円、執行率 0.0%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、管内保育連合会負担金ほか 2 件 96 千円が支出済である。

浜中支所

関係諸帳簿、現金の保管及び取扱いについて提出資料に基づき説明を求め、監査した。

住 民 係

当支所区域内の住民基本台帳、印鑑証明、その他諸証明、町税及び税外収入金の収納、国民健康保険及び年金事務などに関することが主な業務である。

○現金取扱状況	有料	無料	
税 金	799 件		12,234,712 円
証明手数料	434 件	3 件	196,800 円
介護保険料	43 件		315,000 円
後期高齢者医療保険料	55 件		401,900 円
斎場使用料	10 件		165,000 円
収入証紙	20 件		171,000 円
水道・住宅料ほか	631 件		5,254,263 円
合 計	1,992 件	3 件	18,738,675 円
	(前年対比 56 件増)	(前年対比 3 件減)	(前年対比 3,234,955 円増)

予算執行状況は、歳出予算現額 1,174 千円、支出済額 426 千円、執行率は 36.3%である。

茶内支所

関係諸帳簿、現金の保管及び取り扱いについて提出資料に基づき説明を求め、監査した。

住 民 係

当支所区域内の住民基本台帳、印鑑証明、その他諸証明、町税及び税外収入金の収納、国民健康保険及び年金事務などに関することが主な業務である。

○現金取扱状況	有料	無料	
税 金	1,633 件		32,672,280 円
証明手数料	942 件	176 件	408,150 円
介護保険料	99 件		737,300 円

後期高齢者医療保険料	73 件		1,902,300 円
斎場使用料	8 件		120,000 円
コミュニティセンター使用料	12 件		390,840 円
収入証紙	38 件		1,316,320 円
家畜・開パ償還金	6 件		40,000 円
水道・住宅料ほか	1,688 件		11,086,385 円
合 計	4,499 件	176 件	48,673,575 円

(前年対比 97 件減) (前年対比 120 件増) (前年対比 1,969,990 円増)

予算執行状況は、歳入予算現額 640 千円、調定額 198 千円、収入済額 185 千円で、調定対比 93.4 % である。歳出は、予算現額 4,255 千円、支出済額 1,714 千円、執行率は 40.3% である。

町 民 課

町民課各係について、関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、監査した。

町 民 係

住民基本台帳登録人口と世帯数では、人口 6,221 人 (男 3,038 人・女 3,183 人)、2,480 世帯、前年対比 54 人の減 (男 12 人減、女 42 人減)、世帯数は 18 世帯の増である。

戸籍事務については、本庁で業務を一括して行い、各支所は証明書の交付のみ行っている。

各種証明の取扱いは全町で 5,035 件 (うち無料分 766 件、前年対比 1,183 件増)、1,973 千円 (前年対比 461 千円増) である。

予算執行状況は、歳入予算現額 4,687 千円に対し、調定額 2,041 千円、収入済額 2,041 千円で、調定対比 100.0% である。歳出は、予算現額 16,376 千円、支出済額 7,314 千円、執行率は 44.7% である。

保険年金係

国民健康保険事務、国民年金事務及び各医療給付事業事務に関する業務を行っている。

医療費の一部を助成することにより、保健向上と福祉の増進を図ることを目的とした各医療費給付事業の対象者数は、重度心身障がい者医療給付事業 154 人 (前年対比 14 人減)、ひとり親家庭等医療給付事業 152 人 (前年対比 10 人増)、乳幼児等医療給付事業 761 人 (前年対比 4 人増)、浜中町精神障がい者医療費助成事業 16 人 (前年対比 1 人減) 合計 1,083 人 (前年対比 1 人減) に助成を行っている。

国民年金事務については、年金給付関係、資格の得喪、免除申請等の各種申請の進達、また定期的な所得調査等の事務を行っている。

予算執行状況は、歳入予算現額 67,398 千円に対し、調定額 3,162 千円、収入済額 3,113 千円で、調定対比 98.45% である。歳出は、予算現額 211,979 千円、支出済額 56,675 千円、執行率は 26.74% である。

後期高齢者医療制度は、平成 20 年 4 月から将来にわたり、高齢者が安心して医療を受けられるよう国民みんなで支えあう医療制度として創設された。対象は 75 歳以上の方と 65 歳から 74 歳で一定の障がいの状態のある方が対象者となる。後期高齢者医療保険の被保険者数は 937 人 (うち 75 歳未満は 34 人、前年対比 9 人減) である。

歳入歳出予算総額は 67,874 千円、歳入調定額 49,687 千円に対し収入済額 24,334 千円で調定対比は

49.0%、歳出は支出済額 25,054 千円で、執行率 36.9%となっている。

国民健康保険特別会計は、被保険者は 1,233 世帯（前年対比 19 世帯減）で、2,968 人（前年対比 71 人減）が加入している。

予算総額は、歳入歳出 1,384,462 千円で、歳入では、国民健康保険税 31.5%、共同事業交付金 28.4%、国庫支出金 21.1%、道支出金 6.3%、一般会計繰入金 6.1%、前期高齢者交付金 4.5%、前年度繰越金 1.4%、療養給付費交付金、その他で 0.7%となっている。

歳出では保険給付費が予算の 50.6%を占め、以下共同事業拠出金 28.7%、後期高齢者支援金 12.3%、介護納付金 5.8%、総務費、保健事業費、その他で 2.6%となっている。

予算執行状況は、歳入歳出予算総額 1,384,462 千円に対し、歳入調定額 925,465 千円、収入済額 584,504 千円で、調定対比 63.2%である。歳出は、支出済額 627,192 千円で、執行率は 45.3%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、北海道国民健康保険団体連合会負担金ほか 1 件で 662 千円が支出済である。

生活環境係

公衆衛生、廃棄物の処理及び清掃、墓地及び斎場、畜犬取締り及び野犬掃とう、公害、衛生諸施設の管理運営に関することを主な業務としている。

○収入証紙売捌状況

- ・ 4 月～9 月 82,496 枚、6,649 千円（前年対比 2,236 枚増、92 千円増）

○衛生センター稼働状況

- ・ し尿処理量 4 月～9 月 1,039.9k1（前年対比 51k1 減）
- ・ 浄化槽汚泥等処理量 4 月～9 月 447.3k1（前年対比 57.8k1 増）

○ごみ処理状況

- ・ 可燃ごみ、不燃等ごみ、直接搬入ごみ、収集ごみ
4 月～9 月 793.84 t（前年対比 43.42 t 減）
- ・ 資源物
4 月～9 月 331.12 t（前年対比 3.02 t 増）

予算執行状況は、歳入予算現額 45,862 千円に対し、調定額 20,256 千円、収入済額 18,383 千円で、調定対比 90.8%である。歳出は、予算現額 187,824 千円、支出済額 82,373 千円、執行率は 43.8%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、資源リサイクル活動奨励交付金ほか 4 件 4,720 千円が支出済である。

福祉保健課

福祉保健課各係について、関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、監査した。

福 祉 係

児童、ひとり親家庭、心身障がい者、生活保護、高齢者福祉及び高齢者相談、在宅福祉サービスなど社会福祉に関することが主である。

児童手当は6月支給分の児童数延3,040人(前年対比21人増)で、支払額は32,725千円(前年対比980千円減)である。

生活保護状況は、老人25世帯(28人)、母子6世帯(15人)、傷病6世帯(9人)、障害8世帯(8人)施設入所4世帯(4人)、その他1世帯(1人)で、合計50世帯(被保護人65人)、前年対比2世帯減(被保護者6人減)になっている。

放課後児童クラブでは児童43人(霧多布27人、茶内16人、前年対比1人増)に5人(前年対比1人減)の指導員を配置している。身体障害者手帳の交付は、新規交付6件、再交付0件、等級変更3件、住所変更1件、返還9件で手帳保有者347人(前年対比19人減、重複障害数:422)である。

老人の自立支援ホームヘルプサービス事業(登録者27世帯)、外出支援サービス事業(登録者60世帯)を浜中町社会福祉協議会に委託して実施している。

敬老週間事業では、満88歳の方35人(男10人、女25人)に敬老祝い金を贈呈している。

貸付事業では、日常生活用具の貸付(ベッド13、マット13、車椅子9、エアーマット1)、緊急通報装置の設置43台、高齢者バス利用助成事業ではバス券670冊を交付している。

予算執行状況は、歳入予算現額206,708千円に対し、調定額176,800千円、収入済額108,106千円で、調定対比61.1%である。

歳出は、予算現額308,052千円、支出済額157,005千円、執行率は51.0%である。

繰越明許費の歳出予算現額は2,300千円で、支出済額0円、執行率は0.0%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、町社会福祉協議会補助ほか18件84,919千円(決定額)が支出済、支出予定である。

健康推進係

町民の健康増進と栄養指導及び感染症その他疾病の予防に努めており、乳児相談や各種健診等を実施している。

母子対策としての妊婦健康診査等をはじめ、成人対策、エキノコックス症対策、感染症対策、栄養対策などの事業を実施している。

看護師等修学資金の貸付では1人に貸付していたが、完納している。

一般会計の予算執行状況は、歳入予算現額9,272千円に対し、調定額3,820千円、収入済額1,807千円で、調定対比47.3%である。歳出は、予算現額45,629千円、支出済額21,112千円、執行率は46.3%である。

繰越明許費の歳出予算現額は1,500千円で、支出済額1,470千円、執行率98.0%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、社団法人北海道総合在宅ケア事業団負担金ほか4件828千円が支出済である。

国民健康保険特別会計の予算執行状況は歳入予算現額3,090千円に対し調定額458千円、収入済額458千円で調定対比100.0%、歳出は予算現額5,036千円に対し支出済額2,078千円で執行率は41.3%である。

介護保険特別会計の予算執行状況は、歳入予算現額29千円に対し、調定額0円、収入済額0円、調定対比0.0%である。歳出は、予算現額11,913千円に対し、支出済額5,451千円、執行率は45.8%である。

介護保険係

介護保険に関すること、ケアマネジメントセンターに関することが主である。

介護保険の申請状況は、新規・更新を合わせ第1号被保険者が145人、第2号被保険者（40歳から64歳）が3人、合計148人（前年対比42人増）である。

介護度別人数並びに介護保険サービス利用状況は、要支援1・2（34人）、要介護1（63人）、要介護2（60人）、要介護3（36人）、要介護4（42人）、要介護5（26人）、合計261人（前年対比5人増）となっている。

介護保険料収入状況は、調定額78,446千円、収入済額31,868千円で、調定対比40.6%である。

一般会計の予算執行状況は、歳入予算現額7,135千円に対し、調定額2,496千円、収入済額2,496千円で調定対比100.0%である。

歳出は、予算現額66,698千円で支出済額713千円執行率は1.1%である。

介護保険特別会計の予算執行状況は、歳入予算現額452,604千円に対し、調定額223,902千円、収入済額177,324千円で、調定対比79.2%である。

歳出は、予算現額440,691千円、支出済額161,475千円、執行率は36.6%である。

町立浜中診療所

関係諸帳簿及び提出書類に基づき説明を求め、監査した。

総務係・医事係

予算執行状況は、歳入歳出予算現額252,000千円、調定額42,952千円、収入済額41,926千円、調定対比97.6%である。歳出は、支出済額114,599千円、執行率は45.5%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、釧路市医師会費ほか5件4,734千円が支出済である。

歳入歳出予算総額は、252,000千円で、歳入の予算構成割合では、1款診療収入35.1%、2款使用料及び手数料3.2%、3款繰入金55.0%、4款繰越金0.8%、5款諸収入0.4%、6款町債5%、7款国庫支出金0.5%となっていて、診療収入より一般会計からの繰入金等（繰入金と町債で60%以上を占めている。）が多く経営上危機的状況におかれている。

歳出の予算構成割合では、1款総務費88.8%（総務費の構成割合は、浜中診療所維持管理に要する経費で9.0%、浜中診療所運営に要する経費で91.0%）、2款医業費10.3%（医業費の構成割合は、医業に要する経費で82.1%、入院患者等寝具に要する経費で3.9%、入院患者等給食に要する経費で14.0%）、3款公債費0.8%、4款諸支出金と5款予備費で0.1%となっていて、支出の主なもの、医師報酬、職員の給料等、医師雇上賃金で、歳出予算の73%を占めている。

経営状況は、診療収入では、入院患者が前年対比31人減、外来患者も前年対比242人減となっていて、経営を補填するための繰入金が当初予算より増える傾向がみられる。支出の方では、入院患者数から比較すると職員の配置（病棟19床で平均稼働率が約50%を下回っている。）が多く、不経済な人件費等支出がみられるので、経営改善策か、または抜本的経営体制の見直しが直ちに必要である。

農 林 課

農林課各係について、関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、監査した。

林 務 係

町有林整備事業は、地拵、造林、下刈、間伐、野鼠駆除、作業道補修などを 25,275 千円で実施、予定している。予算執行状況は、歳入予算現額 81,224 千円、調定額 9,318 千円、収入済額 9,306 千円で、調定対比 99.9%である。歳出は、予算現額 94,254 千円、支出済額 34,818 千円、執行率は 36.9%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、道治山林道協会釧路支部負担金ほか 6 件 1,509 千円が支出済である。

農業振興係

農業の振興として中山間地域等直接支払交付金事業などを取り進めている。

予算執行状況は、歳入予算現額 165,023 千円、調定額 9,507 千円、収入済額 8,735 千円で、調定対比 91.9%である。歳出は、予算現額 239,050 千円、支出済額 14,701 千円で、執行率は 6.1%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、北海道土地改良団体連合会負担金ほか 3 件 12,663 千円が支出済である。

農政係

家畜購入資金貸付事業は、予算現額 15,000 千円（前年対比 3,000 千円減）に対し、申請は 1 件で 2,000 千円（前年対比 2 件減、6,924 千円減）を貸付している。

貸付金の償還状況は調定額 14,267 千円、収入済額 300 千円、収納率は 2.1%である。

予算執行状況は、歳入予算現額 31,342 千円、調定額 16,627 千円、収入済額 2,660 千円で、調定対比 16.0%である。歳出は、予算現額 90,786 千円、支出済額 11,076 千円、執行率は 12.2%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、（有）浜中町就農者研修牧場運営費補助ほか 7 件 10,525 千円が支出済である。

農業委員会

農業委員会について、関係諸帳簿及び提出書類に基づき説明を求め、監査した。

農政係・農地係

予算執行状況は、歳入予算現額 6,034 千円、調定額 1,529 千円、収入済額 1,515 千円で、調定対比 99.1%である。歳出は、予算現額 12,441 千円、支出済額 5,865 千円、執行率は 47.1%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、北海道農業会議拠出負担金ほか 1 件 273 千円が支出済である。

○農地等移動

農地法第 3 条(贈与)	該当なし	(前年: 6 件	3,767,170 m ²)
〃 (売買)	1 件 116,397 m ²	(〃 : 2 件	212,211 m ²)
〃 (賃貸借)	5 件 469,297 m ²	(〃 : 9 件	1,058,557 m ²)
〃 (使用貸借)	3 件 1,791,233 m ²	(〃 : 1 件	660,086 m ²)
農地法第 4 条	該当なし	(〃 : 3 件	29,683 m ²)
農地法第 5 条	該当なし	(〃 : 1 件	1,000 m ²)

○農地保有合理化事業

売 渡 6 件 872,690 m²

○農業経営基盤強化促進事業

・農地利用集積円滑化事業(買入) 2 件 881,516.01 m²

・	〃	(売 渡)	1 件	211,327 m ²
・	〃	(賃貸借)	7 件	1,001,389.01 m ²
・	利用権設定等促進事業	(売 買)	1 件	13,615 m ²
・	〃	(賃貸借)	1 件	723,713 m ²
・	〃	(交 換)	2 件	42,436 m ²

○利用集積計画公告件数

・	所有権移転	12 件	2,021,583.01 m ²
・	賃貸借	8 件	1,725,102.01 m ²
・	利用権移転	2 件	216,544 m ²

○農業者年金申請等状況

・	未支給年金請求	5 件	・任意脱退	2 件
・	新規加入	4 件	・その他届出	13 件

議会事務局

関係書類の整理及び事務執行について監査した。

議事係・庶務係

予算執行状況は、歳出予算現額 58,795 千円、支出済額 32,265 千円、執行率は 54.9%である。主な支出は、報酬・手当 17,445 千円、共済費 12,463 千円、旅費 1,130 千円などである。

補助金、負担金及び交付金の状況は、鉏路町村議会議長会負担金 400 千円が支出済である。

監査委員事務局

関係書類の整理及び事務執行について監査した。

監 査 係

予算執行状況は、歳出予算現額 2,164 千円、支出済額 920 千円、執行率は 42.51%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、鉏路町村等監査委員協議会負担金 22 千円が支出済である。

水 産 課

水産課各係について、関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、監査した。

港 湾 係

港湾施設の利用状況は、港湾施設用地使用料 21 件 694 千円（前年対比 5 件増、209 千円減）、物揚場・岸壁使用料 95 件 230 千円（前年対比 2 件増、6 千円増）、漁船捲揚施設使用料 60 件 1,996 千円（前年対比 1 件増、1,110 千円減）、船揚場使用料 3 件 2 千円（前年対比 1 件増、2 千円増）、合計 179 件、2,922 千円

(前年対比 9 件増、1,311 千円減) となっている。

霧多布港改修工事として、事業費 75,350 千円、町負担分 18,700 千円である。霧多布港海岸津波・高潮危機管理対策緊急事業として、電気設備の老朽化が著しい津波防災ステーションの整備を 3 カ年かけて実施、平成 27 年度は霧多布港陸開改良工事として 42,738 千円が見込まれている。

予算執行状況は、歳入予算現額 8,951 千円、調定額 4,841 千円、収入済額 2,922 千円で、調定対比 60.4% である。歳出は、予算現額 83,698 千円、支出済額 5,460 千円、執行率は 6.5% である。

繰越明許費の歳入予算現額は 21,043 千円で、調定額 0 円、収入済額 0 円、調定対比 0.0% である。歳出は予算現額 42,738 千円、支出済額 0 円、執行率 0.0% である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、北海道港湾協会負担金ほか 1 件 173 千円が支出済である。

漁政係

漁業機器等購入資金貸付事業では、浜中漁協・散布漁協で合計 4 件 12,770 千円(前年対比 14 件減、19,400 千円減)の貸付となっている。償還状況は、購入資金貸付事業予算現額 23,075 千円に対し、主に 10 月上旬入金予定のため、9 月 30 日現在調定額 0 千円、収入額 0 千円で、調定対比 0.0% である。

登録漁船数、陸揚量、陸揚金額の状況等は次のとおりである。

○散布漁港ほか 4 漁港 登録漁船数 639 隻 陸揚量 7,563 t 陸揚金額 2,369,012 千円
 (前年対比 7 隻減) (前年対比 79 t 減) (前年対比 63,012 千円増)

○漁業近代化資金利子補給承認状況

(単位：千円)

	浜中漁業協同組合		散布漁業協同組合		北海道信漁連		合 計	
	件数	承認額	件数	承認額	件数	承認額	件数	承認額
1号資金	7	10,980	1	7,400	—	—	8	18,380
2号資金	5	15,910	4	17,600	—	—	9	33,510
3号資金	—	—	—	—	—	—	—	—
4号資金	—	—	1	6,800	—	—	1	6,800
合 計	12	26,890	6	31,800	—	—	18	58,690
前年対比	2	100	△3	11,350	—	—	△1	11,450

予算執行状況は、歳入予算現額 33,658 千円、調定額 15 千円、収入済額 15 千円で、調定対比 100.0% である。歳出は、予算現額 199,604 千円、支出済額 29,798 千円、執行率は 14.9% である。

繰越明許費の漁業後継者育成対策事業補助は、歳出予算現額 920 千円、支出済額 0 円、執行率 0.0% である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、漁業近代化資金利子補給ほか 13 件 3,157 千円が支出済である。

水産振興係

浜中の自然特性を生かした栽培漁業としてウニの種苗確保、安定供給に向け関係機関と協議調査を進めている。マツカワは 35,000 尾の稚魚放流事業を北海道栽培公社から稚魚の供給を受けて実施している。

また、浜中漁協の新たな取組みとしてのカキ養殖試験事業に対して 700 千円の支援を行っている。散布

漁協独自で取り組んでいたチカ増殖事業は親魚が確保できない理由から中止となっている。

予算執行状況は、歳入予算現額 4,631 千円、調定額 170 千円、収入済額 0 千円で調定対比 0.0%である。歳出は、予算現額 27,074 千円、支出済額 2,713 千円、執行率は 10.0%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、釧路昆布普及協議会負担金ほか 8 件 1,811 千円が支出済である。

商工観光課

商工観光課各係について、関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、監査した。

商工労働係

商工業者の振興に資する商工機器購入資金貸付事業は、1 件 480 千円（前年対比 3 件減、11,540 千円減）が貸付されている。また、地場産品等の振興のために、さっぽろオータムフェスト 2015「札幌大通ふるさと市場」に参加し、本町の商品を宣伝を図っている。

中小企業者を対象に、特別融資制度を設け、原資 22,500 千円を大地みらい信用金庫に預託し、その 4 倍の 90,000 千円を限度額で融資を行っている。（当期融資 6 件、融資残高 30,350 千円）である。

労働業務については、労働事業の調査及び相談教育、労働者の福祉・共済に向けた出稼ぎ手帳の交付、技能尊重運動及び事業内職業訓練等に関する業務を実施している。

勤労青少年ホームでは、放課後児童クラブなど 2,053 人（前年対比 408 人減）の利用となっている。

予算執行状況は、歳入予算現額 33,386 千円、調定額 90 千円、収入済額 20 千円で、調定対比 22.2%である。歳出は、予算現額 44,092 千円、支出済額 36,550 千円、執行率は 82.9%である。

繰越明許費は、歳入予算現額 3,000 千円、調定額 0 円、収入済額 0 円で、調定対比 0.0%である。歳出は予算現額 19,500 千円、支出済額 19,500 千円、執行率 100.0%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、町商工会事業補助ほか 7 件 13,366 千円が支出済である。

繰越明許費分では、プレミアム商品券発行事業補助 1 件 19,500 千円が支出済である。

観光係

観光客誘致宣伝として、観光広告の掲載、北海道観光振興機構、釧路観光連盟、釧路町・厚岸町・浜中町広域観光推進協議会、くしろ圏観光キャンペーン推進協議会への参加協力しているほか、各種観光パンフレット、資料の配布を行っている。

地域活性化を目指すルパン三世関連事業の展開では、プロジェクト会議によりルパン三世フェスティバルの開催や公用車のラッピング、ホームページの更新等を実施。また観光協会主催事業の事務局と連携し、浜中うまいもん市、岬まつりを開催している。

また、琵琶瀬展望台、霧多布岬展望台において観光客の入り込み調査も行っている。調査の結果、観光客は、287,590 人（前年対比 29,470 人増）、宿泊客延数 5,578 人（前年対比 696 人減）となっている。

バンガローの利用状況は、755 人、342 棟（前年対比 200 人増、66 棟増）、休憩舎の利用状況は、142 人、9 件（前年対比 29 人増、2 件増）となっている。

予算執行状況は、歳入予算現額 667 千円、調定額 722 千円、収入済額 612 千円で、調定対比 84.8%である。歳出は、予算現額 55,428 千円、支出済額 48,520 千円、執行率は 87.5%である。

繰越明許費の歳出予算現額 3,478 千円、支出済額 3,431 千円、執行率 98.6%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、霧多布湿原センター管理運営負担金ほか 13 件 38,762 千円が支出

済である。

繰越明許費分では、モンキー・パンチ&ルパン三世de活性化プロジェクト運営補助ほか1件3,431千円が支出済である。

ふれあい交流・保養センター係

町民の保養と健康づくりを通じて交流を図るとともに、災害時における避難施設としての活用を図ることを目的とした施設である。本年度は9月末で入浴者30,265人（前年対比623人増、営業日数177日、1日平均171人）が利用している。入浴料収入（室料含む）は、13,259千円（前年対比359千円増）、売店等は7,607千円（前年対比210千円減）となっている。

予算執行状況は、歳入予算現額51,354千円、調定額26,265千円、収入済額26,087千円、調定対比99.3%である。歳出は、予算現額87,522千円、支出済額31,843千円、執行率は36.4%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、鉏路地方食品衛生協会負担金ほか2件26千円が支出済である。

中山間活性化施設係

MO-TTOかぜてでは、農業、漁業の生産物に対し、付加価値を付けるための研究や開発を目的とした施設であり、町内多くの女性団体や青少年の農産物加工体験、各種燻製づくり、各種講習会の開催をしている。9月末迄の利用者並びに来館者は3,791人（前年対比142人減）である。

また、乗馬体験、キャンプ場の活用を通して地域と都市の交流を図っている。

予算執行状況は、歳入予算現額387千円、調定額161千円、収入済額161千円で、調定対比100.0%である。歳出は、予算現額11,639千円、支出済額5,326千円、執行率は45.8%である。

水道課

水道課各係について、関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、監査した。

水道係

予算執行状況は、歳入予算現額80,183千円、調定額35,942千円、収入済額35,289千円、調定対比98.2%である。歳出は、予算現額60,847千円、支出済額25,375千円、執行率は41.7%である。

水道使用料納入状況	調定額	収入済額	収入率
農業用水	32,509千円	32,427千円	99.7%
	(前年対比871千円増)	(前年対比1,040千円増)	(前年対比0.5%増)

建設課

建設課各係について、関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、監査した。

土木係

道路全般の維持管理、河川に関する事など、土木に関する事全般に亘り業務をしている。

道路占用許可74件（前年対比6件増）、河川占用許可43件（前年対比14件増、43件の内訳は土地39

件・工作物4件)となっている。

工事執行状況として土木工事など5件(前年対比2件減)で請負金額40,047千円(前年対比8,358千円減)、調査設計等委託業務8件(前年対比1件減)、58,644千円(前年対比902千円増)となっている。

予算執行状況は、歳入予算現額74,628千円、調定額1,529千円、収入済額1,528千円、調定対比99.9%である。歳出は、予算現額235,741千円、支出済額26,391千円、執行率は11.2%である。

建 築 係

建築基準法、建築指導、建設リサイクル、その他建築に関すること全般に亘り業務を担当。

建築確認申請5件(前年対比4件増)、リサイクル法通知書・届出書13件である。

工事執行状況として建築工事など5件(前年対比6件減)で請負金額172,779千円(前年対比77,887千円減)、調査設計等委託業務4件(前年対比1件減)、36,267千円(前年対比20,391千円増)となっている。安心住まいの促進事業は、9月末現在で38件の申請となっている。この事業に伴う金権の発行額は1,940千円である。

予算執行状況は、歳入予算現額55,657千円、調定額0千円、収入済額0千円で調定対比0.0%である。歳出は、予算現額1,261千円、支出済額370千円、執行率は29.3%である。

繰越明許費は歳出予算現額4,500千円、支出済額552千円、執行率12.3%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、既存住宅耐震改修費補助金600千円であるが、9月末現在で申込者はなく支出はない。

繰越明許費分は、安心住まいの促進事業助成金として、11件552千円が支出済である。

下水道係

下水道事業特別会計の予算執行状況は、歳入歳出予算現額442,113千円、調定額41,176千円、収入済額33,738千円で、調定対比81.9%である。

歳出は支出済額180,065千円、執行率は40.7%である。

一般会計から下水道事業特別会計への繰出金として予算現額330,819千円があるが、繰り出しはまだ行われていない。

補助金、負担金及び交付金の状況は、道自治体情報システム協議会負担金ほか4件299千円が支出済である。

教育委員会

関係各課について、関係諸帳簿及び提出書類に基づき説明を求め、監査した。

管 理 課

予算執行状況は、歳入予算現額15,754千円、調定額7,963千円、収入済額3,761千円で、調定対比47.2%である。歳出は、予算現額305,836千円、支出済額99,010千円、執行率は32.4%で、主な支出済額は学校用バス運行委託料ほか委託料24,750千円、学校配当ほか需用費22,342千円、臨時雇上賃金ほか賃金16,068千円などである。

補助金、負担金及び交付金の状況は、町教育研究所負担金ほか19件6,749千円が支出済である。

○奨学金給付状況

大学生・短大生	6人（前年対比2人増）	月額	10,000円	
専門学校生	1人（前年対比6人減）	月額	10,000円	
高校生	10人（前年対比1人減）	月額	5,000円	計17人、年額1440千円 （前年対比5人減、540千円減）

○教員住宅使用状況 小中学校 74戸、調定額 7,500千円

生涯学習課・総合文化センター

関係諸帳簿及び提出書類に基づき説明を求め、監査した。

社会教育係・総合文化センター係

予算執行状況は、歳入予算現額 334千円、調定額 197千円、収入済額 173千円で、調定対比 87.8%である。

歳出は、予算現額 33,787千円、支出済額 13,777千円、執行率 40.8%で、主な支出済額は、文化センター警備清掃委託料 3,567千円、文化センター燃料費ほか需用費 2,996千円、各種団体等への補助金 1,372千円、講師謝金 578千円などである。

補助金、負担金及び交付金の状況は、浜中町少年少女国内派遣事業負担金ほか 14件 2,921千円が支出済である。

総合文化センター利用状況	361件（前年対比87件減）	15,069人（前年対比5,012人増）
総合文化センター図書貸出	利用者数 859人（66人）	2,450冊（191冊） （前年対比1,108人減、夜間138人減）（前年対比50冊減、夜間127冊減）

※（ ）は夜間開放。27年度の利用者は、貸出者のみをカウントしている。

読書活動をより一層推進するとともに、町民が利用しやすい環境を整えるために、毎週火曜日と木曜日に夜間開放（17：00～21：00）を行っている。

スポーツ係

予算執行状況は、歳入予算現額 696千円、調定額 488千円、収入済額 477千円で、調定対比 97.7%である。

歳出は、予算現額 60,758千円、支出済額 28,676千円、執行率 47.2%で、主な支出済額は、燃料費ほか需用費 9,847千円、施設管理賃金ほか賃金 7,457千円などである。

補助金、負担金及び交付金の状況は、浜中町体育協会補助ほか 7件 4,252千円が支出済である。

各施設利用状況

霧多布スポーツ広場	989人（前年対比445人減）
総合グラウンド	1,517人（ 〃 107人増）
町民パークゴルフ場	3,189人（ 〃 143人減）
農業者トレーニングセンター及び運動広場	2,669人（ 〃 408人減）
浜中町民温水プール	4,203人（ 〃 260人増）

スクラム 2 1	1,219 人 (" 65 人減)
総合体育館	7,013 人 (" 423 人増)
農村運動広場	107 人 (" 65 人増)
学校開放 (霧多布小ほか 3 校)	571 人 (" 38 人減)
総利用者数	21,477 人 (前年対比 244 人減)

霧多布高等学校

関係諸帳簿及び提出書類に基づき説明を求め、監査した。

管 理 係

昨年度より、授業料徴収条例が施行されたことにより授業料を徴収することとなった。1・2 年生が徴収対象で、3 年生は従前の不徴収交付金の対象のため授業料の徴収対象にはならないこととなっている。また、授業料徴収対象の 1・2 年生は、「高等学校等就学金制度」の対象になるため、所得制限以下の場合には支援金を受け、町が定めた授業料との相殺ができることで自己負担はない。

予算執行状況は、歳入予算現額 11,994 千円、調定額 11,957 千円、収入済額 4,093 千円で、調定対比 34.2% である。歳出は、予算現額 43,711 千円、支出済額 20,257 千円、執行率は 46.3% である。主な支出は、学習支援員、管理人ほか賃金で 7,006 千円となっている。

補助金、負担金及び交付金の状況は、海外交流派遣負担金ほか 5 件 3,504 千円が支出済である。

給食センター

関係諸帳簿及び提出書類に基づき説明を求め、監査した。

総務係・業務係

学校給食センターの運営については、調理員 7 人と代替 1 名を臨時雇用し、年 195 日を基準として実施している。9 月末現在、供給日数 100 日、60,217 食を供給している。

予算執行状況は、歳入予算現額 368 千円、調定額 121 千円、収入済額 121 千円で、調定対比 100.0% である。歳出は、予算現額 63,527 千円、支出済額 15,767 千円、執行率 24.8% で、主な支出済額は、調理人賃金ほか賃金 7,579 千円、燃料費ほか需用費 4,193 千円、配送車運行委託ほかとして委託料 3,382 千円となっている。

補助金、負担金及び交付金の状況は、釧路管内学校給食研究協議会負担金ほか 1 件 19 千円が支出済である。